

ソニー生命の市場整合的エンベディッド・バリュー(MCEV)を構成する
既契約価値の試算結果について

2010年2月12日

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

ソニー生命の2009年3月末のMCEVに対する、金利変動の影響に関するご質問が多いことから、2009年12月末の市場金利を用いて2009年3月末の既契約価値を試算した結果をお伝えします。

- －既契約価値について、その構成要素である確実性等価利益現価とオプションと保証の時間価値部分の変動試算を行いました。2009年3月末の保有契約に対して、計算前提のうちスワップ金利だけを2009年12月末の金利に変更し試算した結果、既契約価値の当該部分は2009年3月末から約1,760億円増加となりました。
- －既契約価値の残りの構成要素であるフリクショナルコストとヘッジ不能リスクに係る費用については、試算を行っていません。

なお、MCEVの残りの構成要素である2009年12月末の修正純資産は、超長期金利を中心に金利が上昇したため、満期保有目的で保有している超長期債券の含み益が含み損に転じたものの、主に株価の上昇により2009年3月末から約250億円の増加となりました。

上記の試算は、時間経過とともに保有契約の商品構成や市場金利以外の計算前提について変化が生じていることを考慮しておりません。また、試算の妥当性については第三者の検証は受けておりません。

以 上